

会 議 録

会 議 名	令和5年度第2回東浦町景観まちづくり委員会	
開 催 日 時	令和5年12月10日（日） 午前9時から午前10時40分まで	
開 催 場 所	東浦町役場 西会議室	
出 席 者	委 員	生田京子氏（委員長）、内藤明綱氏（副委員長）、梶川幸夫氏、水野善久氏、戸田重雄氏、万木和広氏、青山佳子氏、尾崎理子氏、高野邦良氏
	事務局	日高町長（他公務により冒頭挨拶のみ）、棚瀬都市整備部長、川瀬都市計画課長、竹内都市計画係長、中村主事
議 題 (公開又は非公開の別)	1 議題（公開） （1）ブラアイチ in 東浦の報告 （2）第45回東浦町産業まつりの報告 （3）緒川児童館前の外構について	
傍聴者の数	1名	
議 論 内 容 (概 要)	議題の議論内容については、別紙のとおり	
備 考		

町長： 8月に町長に就任して以来初めての東浦町景観まちづくり委員会となる。景観まちづくりは、平成25年度から取組みを継続している。引き続き、東浦町らしいまちづくりとは何かを考えながら取り組んでいきたい。その中でも本日は会議後に、住民の皆様をはじめ多くの方に参加いただいている景観コンテストの審査もある。先日、事前審査を行ったが、東浦町の好きな場所や素敵な場所を見つける良い機会だと感じた。また、会議では、景観共感PRとして実施している産業まつり、愛知県主催のブラアイチ、緒川児童館前周辺の外構についてご意見を伺うと聞いている。委員の皆様には、本日の会議と共に今後も景観まちづくりの取組みにご協力をお願いします。（他公務により退席）

議題

事務局：議題（1）ブラアイチ in 東浦の報告

令和5年10月28日に開催され、当日は249名が参加した。

前回会議で意見のあったコースについて、最終的には歩く順番やスポットの追加等で反映することができた。また、前回意見を参考に、地形と景観をより楽しめる別コースマップを作成し配布した。

当日は景観コンテストの募集期間中であり、まち歩き中に応募してくれた方にノベルティを渡す企画を行ったり、ご当地アイドルがPRをしてくれたりした。その他には、緒川の屋敷地区に入る前に、東浦町役場西会議室で景観の展示を行った。

参加者アンケートでは、「新しい発見があった」、「町作成コースでリベンジしたい」、「道がわかりづらかった」等のコメントがあった。町外出身の回答者も多く、ブラアイチをきっかけに東浦の景観について知ってもらえる良い機会になったと感じている。

事務局：議題（2）第45回東浦町産業まつりの報告

令和5年11月11日、12日に開催された産業まつりにおいて、2日間とも、景観のPRで出展した。毎年パネル展示を主に行っていたが、今年度は、来場者が積極的に参加できるものにするため、町内の写真にコメント（感想やタイトル、写真の場所への思い入れ等）を書いてもらう企画を行った。町内の写真は、今年度の景観コンテストのテーマを基に、何気ない日常のあまり知られていないところを中心に用意した。自分たちのまちをコメントで表現することで、良さに気づき、改めてまちに対する考えや愛着をもってほしいという目的だった。このような小さな取組みを今後も積み重ねていきたいと考えている。

その他、景観PR冊子「うらうらさんぽ」や募集期間中だった景観コンテストのPR、若者会議で制作された動画の上映等を行った。

- 委員 長： 議題（１）及び（２）について、ご質問・ご意見を伺う。
- 委員： 議題（１）について、別コースを歩いた人数は把握しているか。
- 事務局： コースは参加者が各々でマップを基に自由に歩いていく形だったため、正確には把握できていない。
- 委員： 前回のコース案では東浦の地形があまり活かされていないが、最終的にはとても良くなっている。昔海だった場所を歩いても平坦なところしか無いが、最終的には景観的な視点場や丘へ上がるような道が設定されており、良いコースとなったと思う。
- 他市町でのまち歩きを通して、何かスポットが無くても地形だけで十分楽しめることがわかった。今後も、町としてこのような企画を続けて欲しい。また、国土地理院の一番古い地形図に載っている道を参考にすればとても良いコース設定ができるので、是非検討してほしい。
- 委員 長： 別コースマップも作成し、良いものになったのではないか。これらをもとに町の企画として継続し、各鉄道会社にも PR できるといいと考える。
- 委員： 議題（２）について、写真にコメントをしてもらっているが、「すてき！」など抽象的なものもある。まち歩きで自分で撮った写真に何かコメントしてみると、10 人いたら 10 人とも違うことを感じていたことがわかったりする。そこから共感に繋げていけるようなプログラムを組んでいけたらいいと思う。
- 本町の景観まちづくりにおいて、今一番足りないのは共感であると思う。もう一度共感を育んでいけるように考えていけば、まち歩きイベントや産業まつりでの PR の仕方も変わってくると思う。
- 委員： 産業まつりの写真について、どの場所なのか分かった方が良かった。町の地図も貼って、写真の位置を示せたら参加者同士で話も盛り上がったのではないだろうか。視覚的にわかりやすくなればと思った。
- 委員 長： 写真に興味をもった方がその場所に行けるように、場所を示しておけばより良かったと思う。
- 委員： 森岡、緒川、石浜など地区ごとで空気感も違うので、それも地図で示せたらいいと思う。
- 委員： 当日現地に行ったが、町の最近の写真が撮られていて良かったと思う。
- 委員： 前年度よりかなり場所が良くなっていた。
- 事務局： 人の動線に位置していたため、多くの人が見に来てくれたと感じている。
- 委員： コメントがこれだけ集まっているので、それなりに見に来てくれる理由があったのだと思う。
- 委員： フロアに道順を示すマークがあれば、参加者がみんな回って来てくれ

るのではないだろうか。

事務局：議題（3）緒川児童館前の外構について

前回会議で議題とした郷蔵解体及び道路拡幅後の緒川児童館前及びグリーン・ラソ西側の外構について意見を伺う。

前回、郷蔵解体や道路拡幅の是非についても議論が及んだため、まず解体と拡幅を決定した町の考えを改めて説明する。郷蔵については、拡幅要望が地区からあったことをきっかけに移築等を具体的に検討してきたが、最終的には老朽化のため解体を決定した。現場では既に解体工事が終了している。拡幅については、前から地区の要望があったところで、町全体のネットワークや交通状況等から町の拡幅計画にも位置付けられていた。計画にある路線は順次拡幅を行っていく予定だが、いただいた意見は道路部局に共有している。

本題の外構については、前回会議の意見を踏まえ、黒塀の設置は取りやめとし、文化センター等の公共施設群と同じようなレンガブロックを設置し、児童館前には子どもの飛び出し防止のためフェンスを設置する案で検討している。この案について本日は意見をまとめ、道路部局へ共有したいと考えている。ただし、実際の計画にはコストや町の担当課の施設管理者等の考えもあるため、全ては反映できないことをご了承いただきたい。

外構案についてご意見いただきたい。

委員長：議題（3）についてご質問・ご意見を伺う。

委員：外構計画図にある、道路沿いの二本線は歩車道境界ブロックか。

事務局：外側線である。道路拡幅に合わせて外側線も広げてしまうと、より車がスピードを出してしまうことが想定される。そのため、例えば外側線はそのまま残し、歩道が広がるイメージになればという案である。

委員：ごみステーションの見た目をなんとかしてほしい。また、その横の門柱はどのような経緯で残っているものなのか。

委員：昔あった公民館か学校のものである。

事務局：門柱は、隅切りの関係で移設となるかもしれないが、今回の計画では残す方針である。昔の学校があった当時のものと思われる。

委員：門柱の経緯について、確認してほしい。

事務局：承知した。

委員：門柱に合わせてごみステーションを和の雰囲気としてみるのはどうか。郷蔵跡地でもあるのでテイストを揃えてもいいと思った。

また、郷蔵跡地の案内板について、散歩に来た人が見えにくい位置に計画されている。道路側に設置するか、案内板の案内を道路側に設置し

てもいいのではないか。

委員： ごみステーションの件だが、地区と町で話をしているところである。また、郷蔵跡地の案内板はしっかり残してほしい。

道路拡幅について、道路沿いに建っている建物は簡単には動かさせないと思う。そこまで町は考えているのか。個人的には広げない方がいいと思っている。車ではなく人が歩いていく道にしていきたい。たくさん子どもたちが横断するところであり、非常に危ない。お祭りの屋形が通る道でもあるので、歩いて馴染む道であってほしい。グリーン・ラソ周辺も、人々が雑談等で集う場所として、植栽が残っていた方がいい。現状を極端に変えないでほしいと思っている。

事務局： 道路のことについては、本委員会の議題とは離れたところにあるため、この件については別途道路部局へ伝えさせていただく。

委員長： 今出た意見を一度整理する。ごみステーション、案内板、植栽、外側線等について意見があった。事務局より回答ください。

事務局： ごみステーションについては、児童館等の入口部分になるため、移設等について町の担当課とも話をしているが、地域にとってごみステーションの場所が変わるということは非常に影響があるとのこと。メインの場所ではなく、もう少し脇役になる感じにしていきたいと考えていた。

委員： 場所は動かさなくてもいいので、見た目が素敵なものになればいい。

委員： 場所は他にはないし、通り抜けるにはちょうどよい位置にある。

委員： 場所ではなく、ごみステーションのデザインについての意見である。

委員： 発想を変えて、現代の貝塚として素敵なものになればと考えると面白い。

事務局： グリーン・ラソ前のテラスに座った時に、目の前にごみ置き場があるのは気になっていた。敷地内の重要な位置にあるため、課題はあるが見た目について町担当課と検討できればと考える。

案内板については、郷蔵跡地に設置するという事でこの位置になっている。たしかに、散歩に来た人が見えにくいというのは重要な意見であるので、こちらについても町担当課と検討できればと考える。

委員長： 外側線についてはどうか。道路拡幅の条件のもと、車のスピードを抑えたいという意見が前回から多く出ている。例えば、外側線のところでカラー舗装に変える等の工夫が考えられる。舗装の仕上げ等でその町らしさを出すところもある。今後拡幅されていくということであれば、このまちなみの指針となるような道路の扱いの議論があってもいいと考える。

事務局： 外側線は、道路部局によればまだ明確な方針がない。計画図では、前回の意見を踏まえて、車のスピードを抑えるために視覚的に歩道のように感じるようにあえて余裕をもった絵としている。コストや条件等ある

が、道路部局と今後も調整していきたい。

委員 長： 委員会としては、この路線に対して交通安全に関する強い意見が出ている状況である。白い線が蛇行するのも不思議な光景であるので、この場所だけでなく路線全体で統一した扱いをイメージしていければと思う。

委員： 拡幅ありきだった場所で建物も後退させておいて、外側線を残すのは本末転倒だと思う。建物の並びや歴史を大事に、合理的に残せていたはずであるので納得がいかない。北側は拡幅できるようになっているが、南側の建物は今後 20 年、30 年残ると思われる。バイパスが整備されたことにより国道の渋滞が緩和され、ここの需要は減っている。8 m 拡幅なんていらないはずである。拡幅は十何年前に議論されているが今は状況が変わっている。

委員 長： 景観の観点でも町全体の拡幅の見直しの意見が出ている状態である。路線の交通量を抑える何らかの工夫をしていただきたいという意見を、道路部局とご検討いただきたい。

委員： 郷蔵解体に至った経緯についても、費用対効果等について述べられているが、文化財保護審議会の議事録を調べると、当初は活用ありきの議論がされていた。何年も、活用方法を考えるよう審議会は要望していたが、コロナ禍で突然解体の方向になった。いろいろ経緯を確認したが、担当課が専門的でない業者とやり取りをしていて、耐震診断やコストの根拠も乏しいまま解体に至っていた。解体は見届けたが、経緯が稚拙である。拡幅したがスムーズに車が通れない工夫をすると、なぜ郷蔵を解体したんだという気持ちになる。住民として、郷蔵に対する愛着があった。看過すれば大きな問題にならないだろうか。お祭りの道だという点でも、お祭りはまちづくりに欠かせないものである。その通り沿いの景観として、歴史の中心として、それに対する回答が真摯にあることを望んでいたがそれが無かったのが残念である。

事務局： 重要なことではあるが、前回意見に対する回答は資料にまとめている。今回は、外構についてご意見いただきたいところである。既に解体工事は完了しており、また時間も考え、本件についてはこの程度とし、今後のことについて意見を伺いたい。

委員 長： この意見に対し、事務局には真摯に受け止めていただきたい。門柱やレンガ積みについて事務局からご説明ください。

事務局： 門柱について、細かい歴史はわからないが昔学校があった当時の名残である。計画上移築となるかもしれないが、残す方針である。細かい経緯については確認する。

グリーン・ラソ前の植栽については、拡幅した後の管理用通路が子どもたちの動線にもなっており、また、施設側の開放的にしたいという意

	向により、最低限の見切りのみ設置する方針である。少し北側のスペースには可動式の植栽を設けられたらと思っている。
委員	園庭の方は飛び出し防止になるものが必要であるし、グリーン・ラソ前も車の衝突防止が必要である。今の案の260mmの高さは低いと感じる。
委員長	260mmというのは現在のレンガ積みの高さと同様か。
事務局	その通りである。高低差はあるが概ね260mmである。
委員	グリーン・ラソ周辺のベンチに安全に座ってもらうためにも、もう少し高くしないといけない。ただし、高くしすぎると圧迫感が出てしまうので、見えつつ見えないくらいがいい。そして、現状からあまり変えず、フェンスではなく生垣があるのがいい。建物とくっついてもいいと思う。
事務局	地域の縁側として、活動が見えて欲しいという希望でオープンにしたいと考えている。
委員	花壇があってもいいのではないか。周辺にある生垣と揃えたり、そこに植えるものをコミュニティで考える等もできる。児童館前も同じ仕様にしたらいいと思う。 また、板塀が無くなったが、郷蔵のあった間口だけ板塀になっても有りだと思うがどうだろうか。何か痕跡が欲しい。
委員	歴史を感じるまちなみということで、坊主橋の欄干とフェンスのデザインを揃えてはどうか。於大の道にあるような看板や説明板もあると歴史も感じるし道行く人が楽しめる。
委員長	260mmの立ち上がりと、その間に植栽を置くことが可能なのか、事務局よりご説明ください。
事務局	通路の植栽設置は、施設側の要望により想定していなかったが、植栽とすべきか通路とすべきか意見をいただければありがたい。高さはまだ調整が可能である。260mmはまだ想定の段階である。
委員長	委員会としては、通路について植栽にできないか施設と調整いただきたい。通路を確保したいということであれば、レンガの高さが低すぎるという意見でよろしいか。
委員	私は、通路が狭くなるなら児童館側と合わせて両方ともフェンスでいいと思う。板塀に関しては、一部はあってもいいと思う。
委員長	これに関して他の委員から何かあるか。
委員	一部板塀については、やはり違う気がする。
委員	フェンスも門柱の両側に設置したらどうか。先ほど意見のあった歴史を感じるフェンスであればなおいい。植栽は中に少し鉢があればと思う。
委員長	グリーン・ラソはオープンにしたいという意向だが、委員会としては

グリーン・ラソと児童館前は同じレンガとフェンスに揃えて、グリーン・ラソは内側に植栽を置くという案。フェンスのデザインは十分に配慮するというまとめでよろしいか。

委員： この通り沿いから木々がどんどん無くなっている。植栽は道を通る人へのおもてなしにもなる。フェンスだけになるならそんな景観はいらない。今回撤去される植栽の代わりに、内側に並木を作る等の配慮が必要である。コストの問題があるなら、レンガとフェンスではなくレンガと生垣がいいのではないか。

委員長： 予算上の課題はあると思うが、木が1本も無くなるのは視覚的に大きなことである。これに替わる、まちなみに寄与するような植栽があるといいと思う。まとめると、委員会としては児童館側もグリーン・ラソ側も共通でレンガとフェンスとし、フェンスはデザインに配慮し、可能なら内側に植栽を設ける。また、道路側に案内板が見えるようにという意見もあった。

現在の施設の看板は無くなるのか。

事務局： 老朽化もあり看板は撤去され、今後も設置はない。

委員： フェンスは、両面で違う絵があるとか、建物の案内になる絵があるといいと思う。

委員： この通り沿いは海の辺地であり、郷蔵から年貢が出された港でもある。案内板にはその話も港の絵とともに載せてほしい。案内板のデザインがそのようであると嬉しい。

委員長： 案内板についての意見も町担当課に伝えていただきたい。拡幅については再検討をお願いしつつ、委員会としては両側をレンガとフェンスとし、フェンスはデザインに気を付け、可能なら内側に植栽を設ける。また、道路側に案内板が見えるようにという意見、外側線は継続的な景観の観点で検討いただきたいということでここまでとしたい。

事務局： ご議論いただきありがとうございます。ご意見は町担当課に伝えさせていただきます。なお、最初の説明でもあったが、コスト等により全ては反映できないことについてご了承ください。本件については今回で最後となるが、今後は町の考えで進めさせていただきます。

以上